



7/30  
(木)

## 人権擁護に尽力 前田さんに感謝状

人権擁護委員の前田益久さん(蔵之元)が3年間の任期を満了し7月30日、鹿児島地方務局長と県人権擁護委員連合会長からの感謝状が贈呈されました。

前田さんは平成29年に人権擁護委員として委嘱され、特設人権相談や町内の小中学校における人権教室、人権の花運動などを通して人権擁護に尽力されました。

新しい委員として山内達也さん(西)が就任しました。



感謝状を手にする前田さん(写真中央)

8/5  
(水)

## 第32回豊かな海づくり放流祭 成長願い稚魚を放流

漁場環境保全への機運を高めるための第32回豊かな海づくり放流祭が8月5日、薄井漁港であり、町内外の漁業関係者約30人が出席しました。

これは毎年7月に県内各地の持ち回りで開催され、今回は新型コロナウイルス感染症対策のため、規模や時間が縮小されて行われました。

式では、東町漁協の長元信男代表理事組合長が「生産性の高い水産業を関係団体一体となり取り組めば、豊かな海づくりが可能であることを確信している」とあいさつ。放流では、風の杜こども園の園児らが「大きくなーれ」と元気よく声を掛けながら約600匹のマダイやヒラメの稚魚を海に放し、楽しそうに見送りました。



「大きくなって」と願いを込め稚魚を放流する園児

8/8  
(土)

## 母良木ふれあい交流GG大会 世代超え交流深く

母良木集落の子供会と老人クラブが親睦を図るためのふれあい交流グラウンド・ゴルフ大会が8月8日、長島高校跡地周辺でありました。

これは同集落が毎年行っているもので、今回は約30人が参加しました。老人クラブのメンバーが子どもたちに打ちかたとルールを手ほどきしながらチーム戦で競われました。

子どもたちは慣れない手つきでクラブを握ると、ボールの行方に一喜一憂。にぎやかな声が飛び交い、和気あいあいと交流を楽しみました。

平尾小4年生の濱本大翔君は「初めてだったけど、おじいちゃんに教えてもらえたから、まっすぐ打てた」と笑顔で話しました。



皆に見守られながらナイスショット